

第7期鹿追町総合計画審議会等第2回会議議事録

会議名	第2回総合計画審議会 第2回まち・ひと・しごと 創生推進会議	議事録作成者	企画課企画係 係長 迫田 明巳	
開催日時	令和5年11月28日 14:30 ~ 15:50			
開催場所	町民ホール ホワイトホール			
委員 事務局等 出 欠	出	大井 和行 (会長)	出	松本 新吾 策定委員長
	出	石田 秀俊 (副会長)	出	渡辺 雅人 策定副委員長
	欠	木幡 浩喜 (委員)	出	葛西 浩二 総務WG
	出	白川 悦子 (委員)	出	高瀬 俊一 総務WG
	出	山岸 宏 (委員)	出	富樫 靖 福祉WG
	出	馬場 貴明 (委員)	出	渡辺 弘樹 福祉WG
	出	佐々木和男 (総務部会長)	出	大西 亮一 経済WG
	欠	井出 健一 (総務副部会長)	出	宇井 直樹 教育WG
	出	松田 美穂 (福祉部会長)	出	平山 宏照 教育WG
	出	松山なつむ (福祉副部会長)	出	草野 礼行 事務局
	出	上嶋 隆夫 (経済部会長)	出	迫田 明巳 事務局
	欠	櫻井 文彦 (経済副部会長)	出	三好 健介 事務局
	出	神谷 秀敏 (教育部会長)		—
	出	俵谷 俊彦 (教育副部会長)		—
	欠	高橋 俊樹 (オブザーバー)	出	吉田 穰二 (オブザーバー)
	出	清水 智久 (オブザーバー)	欠	平田 幸嗣 (オブザーバー)
	欠	野代 貴行 (オブザーバー)	出	奥村 章 (オブザーバー)
欠	上垣 陽一 (オブザーバー)	出	相内 宜人 (オブザーバー)	
他の出席者	なし			
1. 開 会	■草野企画課長			
2. 会長挨拶	<p>■大井会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2回目の会議であるが、実質的な審議は本日が初回となる。 ● 見直し案について拝見したが、教育の分野が大きく変わっているのかなと思っている。 ● 忌憚のないご意見をいただきたい。 			
3. 報 告 (1) 専門部会 報告	<p>■総務専門部会【口頭】佐々木総務部会長</p> <p>【専門部会開催状況】</p> <p>第1回 8月28日 第2回 9月13日 第3回 9月26日</p> <p>【役場担当課からの主な修正案等】</p> <p>第4章 1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鹿追型ゼロカーボンシティ宣言や推進戦略に沿った内容への修正 			

- 5 ゴミ処理、リサイクル
 - 新中間処理施設の建設に関する記載を追加
 - 7 住宅
 - 空き家対策が全国的にも問題になっていることへの対応を追加
 - 9 防災
 - 防災フェスティバルの開催や、防災無線の関係で、緊急情報伝達の多重化の記載を追加
 - 12 公共交通
 - 公共交通の利用者も減少しており、持続可能な交通手段となるよう効率的なサービスの提供方法を検討していく視点で記載
 - 14 情報通信
 - 町内の光回線の整備が終了したので現状の項目は削除。情報格差の解消とDXの推進について記載。また、デジタル専門人材の派遣を受けて役場内のデジタル課題の整理を進めていることの説明があった。
- 第5章
- 3 男女共同
 - 「男女共同参画」に加えて「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性」のことについて記載
 - 4 移住定住
 - 空き家対策や中古住宅施策の検討、地域おこし協力隊や地域活性化起業人などの活用、鹿追型ワーケーション「シカソン」の参加企業の誘致などについて記載
- 【専門部会委員からの主な意見】
- デジタルについてはどこにも関わることなので、デジタルを活用したい人が活用できるようにして欲しい。
 - 昭和世代の人をデジタル化から取りこぼさない取り組みが必要。
 - LGBTの内容を男女共同参画に入れるかは検討が必要。
 - 防災訓練についてはいざという時に町民が行動をおこせるような訓練が必要
- 福祉専門部会【口頭】松田福祉部会長
- 【専門部会開催状況】
- 第1回 8月25日
第2回 9月19日
- 【役場担当課からの主な修正案等】
- 第1章
- 2 医療
 - 国保病院の経営安定化と医療機能の検証の2つの施策を追加
 - 3 医療保険、介護保険
 - 介護給付適正化事業が5事業から3事業に変更

4 子育て支援

- 子育て世代包括支援センターから子ども家庭センターに記載を変更
- うりっこルームの記載を追加

5 障がい者福祉

- 2023年10月からの就労継続支援B型事業所の記載を追加
- 障がい者との定期的な面談を通して働きやすい環境の整備を記載

7 地域福祉

- 制度や組織に関する「支援しづらさ」を改善し「生きづらさ」を抱える人の生活を支援していくための重層的支援体制整備事業について記載
- 複合・複雑化した支援ニーズに対応するため「断らない包括的な支援体制」の整備を記載

【専門部会委員からの主な意見】

- 医療の分野での記載において、関係期間との連携については「保健・福祉・介護」だけではなく、「教育」も入れた方が良い。医療的ケア児の関係で。
- 就労継続支援B型事業所に関する質問
- 人間ドッグの受診率の低さに関する質問
- 介護保険料・医療費を抑えるための介護予防の取り組みの重要性と、地域主体への活動の支援や地域の活動の様子についての意見交換がされ、地域でできることは地域でやらなければいけないという意見があった。

■経済専門部会【口頭】上嶋議長（経済専門部会長）

【専門部会開催状況】

第1回 8月24日

第2回 9月1日

【専門部会委員からの主な意見】

- 商工会関係として、空き店舗についてはお店を閉じてその物件を売るときに、住宅と店舗が同じ建物になっている人が多く、値段が高くてどうしても売れない問題がある。
- 商工会関係としてキャッシュレスについても課題。
- 特産品開発について、環境保護活動として行っているウチダザリガニの捕獲活動をブランド化に結び付けて、環境保護のPRを検討してほしい。
- 後継者不足を主な理由として、本町酪農家の離農が進む中、残っている農地を余すことなく利用し、町内全体として生産を維持できているのは、外部支援組織のおかげである。ぜひ、3基目のバイオガスプラントの建設をお願いしたい。
- 観光客が畑に入って写真を撮ったりするので、作物や家畜の病気の関係から対策を講じてほしい。

【役場担当課からの主な修正案等】

第3章

1 農業（経営・基盤整備）

- コロナや物価高騰などの現状を修正

2 農業（安心・安全な農業）

- 牛サルモネラに関する記載を修正

5 商工業

- キャッシュレス決済
- 鹿追焼の普及、PR
- 事業継承や空き店舗対策
- 買い物対策を具体化
- 消費者トラブルの施策を追加

6 水産業

- オショロコマの資源維持、増大の必要性を記載
- チョウザメの付加価値向上、商品化に向けた取り組み、販路開拓について追加

7 観光

- 国立公園の活用、サステイナブルな取り組み、道の駅しかおいの再整備に係る記載の整理や追加
- サイクルツーリズムのニーズ、多様化する宿泊ニーズ、インバウンドへの対応について新たに記載

8 ジオパーク

- 地球や鹿追の自然環境の保護・保全と、抱える課題への気づきの視点を新たに加える

第4章

8 水道、下水道

- 水道の整備範囲を現状に併せて修正
- 農業集落排水事業の施設の更新を記載

■教育専門部会【口頭】神谷副議長（教育専門部会長）

【専門部会開催状況】

第1回 8月22日

第2回 9月7日

第3回 9月26日

【役場担当課からの説明等】

- 令和5年4月策定の教育大綱について説明
- 日本の教育の現状や課題について説明。その中でも Well-being について詳しく説明
- 第5次生涯学習中期計画策定に係る住民意向調査結果について説明
- 日本の社会教育の現状について説明

【専門部会委員の主な意見交換】

- Well-being に関して意見交換

<p>(2)総合計画 策定委員会報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会教育での「かかわり」の重要性について意見交換 ● 画一的な教育は限界にきている。 ● メンター、キーパーソン、コーディネーターが重要であり、その人材育成が重要である。 ● 学校と地域をつなぐコーディネーター、ライフアカデミーマイスターのような自主的な活動のコーディネーターが必要である。 ● 地域での活動を進める際の推進役や賛同者の育成が必要である。 ● 一方で社会教育に触れられる場所は整備されていて、選択肢は多いのが鹿追町である。 ● 学校どうしの交流を通して普段とは異なる子どもたちとの交流や、学校以外での活動で、地域を活用してどう居場所をつくっていくかが大事である。 ● 保護者や地域の方に学校での教育活動をもっと知ってもらう必要がある。 <p>【役場担当課からの修正案等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育大綱、第5次生涯学習中期計画をベースとして、専門部会の意見を加味しながら修正案を作成 <p>■策定委員会【資料6】迫田企画係長 資料6に沿って説明</p>
<p>4. 議 事 (1)総合計画 中間見直し案 について</p> <p>山岸委員</p> <p>檜山農業振興課長</p> <p>清水オブザーバー</p>	<p>■迫田企画係長【資料1】</p> <p>11月14日に策定委員会、11月24日の策定会議、本日審議会を開催。そこで出された意見を、現在の見直し案に検討・反映し、最終案を固めていきたいので、忌憚のない意見をお願いしたい。</p> <p>山岸委員 農業の関係で大規模化が進んでいる。離農が進めば農地も出てくる。今の農業者だけでさばけるかどうかと思う。また、農地の格差も生じてくると思う。新規就農についてもこれまでは鹿追町では出てこなかったが、そろそろ考えてみてはどうかと思うがどうだろうか？</p> <p>檜山農業振興課長 見直し案P49に新規就農の記載をしている。また、農業委員会長、町長、JA組合長も構成員である鹿追町次世代農業経営体対策協議会を立ち上げて検討を進めているところである。</p> <p>清水オブザーバー 新規就農については、農業委員会長も参加し検討しているところ。なかなかそれぞれの立場もあり、平行線で議論が進んでいないところもある。しかしながら避けては通れない話であり、農業委員会でも話を進めているところ。正直、居抜きでの新規就農はハードルが高い。今までの新規就農はそういった視点であるが、違った視点での新規就農も検討してはどうかと話している。例えば、施設園芸で</p>

<p>山岸委員</p> <p>清水委員</p> <p>馬場委員</p> <p>迫田企画係長</p>	<p>あったり、後継者としての新規就農や、従業員から経営体に入るようなことも考えていかなければならない。</p> <p>やはり居抜きでの就農はハードルが高いと農業委員会でも話をしている。そして今までは農地も出てこなかった。しかし、農地が余るのは目に見えている。今回、農地の斡旋で、誰も手を挙げない農地というのがついに出てしまった。コロナの影響などから農業の潮目が変わってきた。農業委員会としても早急に検討すべきと考えている。</p> <p>少し専門的な話になって申し訳ないが、農地法第3条による農地の賃貸借が多いことで、農地の分散化が進んでいると思う。今後、集約が難しくなってしまうのではないかと危惧している。</p> <p>おっしゃる通りではある。農地法第3条に基づき実施しているのが法律に違反している訳ではないが、農地が分散するのは目に見えている。TMRセンター、コントラがあるので、どこに土地があっても不自由しない。全ての作業をコントラがやってくれるので。全町公募で地域外に土地を持つ人が増えている。</p> <p>農業委員会としてはそれよりも遊休農地が出てくいることの方が大きな課題で、そちらの対策を考えていきたいと思っている。</p> <p>全体を通してカタカナで書かれている部分が多く、どういったことかわからない部分がある。また、見直し案で青字で記載されている部分についてはどう反映されるのか。</p> <p>カタカナの部分については、事務局でも全体的に確認し、町民の方が分かりやすいように工夫する。どうしてもカタカナの表現でなければ整合性が取れなかったり、代替えの言葉が見つからない部分もあると思うので、その際には注釈を加えたい。</p> <p>青字での記載は見直し案の表紙にあるとおり、削除される部分。しかし、デジタルと環境の部分はそのまま残っている。デジタルについては重点プロジェクトと総合戦略にあたる事業の検討としての材料とした。環境についてはどのように整理していこうか悩んでいるところ。どちらにしても、その内容がそのまま計画に記載されることはない。</p>
<p>(2)重点プロジェクト案及び第3期総合戦略について</p> <p>大井会長</p>	<p>■迫田企画係長【資料4】</p> <p>資料4に沿って説明</p> <p>修正の経過について説明いただいた。事務局の方でもいろいろ検討されたことと思う。違った視点もあるとは思っているので、ご意見伺いたい。</p>

<p>大井会長</p> <p>相内オブザーバー</p>	<p>(特に意見なし)</p> <p>出席されているオブザーバーを代表して十勝総合振興局の相内部長のご意見やアドバイスをいただきたい。</p> <p>全体を通して環境やデジタルの部分を検討されている点は素晴らしいと思う。北海道でも現在総合計画の見直しを行っており、全体を通して子ども政策の視点を入れている。子どもの視点、子どもの為になるということを計画の全てで検討している。北海道では「子どもがどう絡んでいるか」が大きいテーマ。ぜひ参考にさせていただければと思う。</p>
<p>5. 今後のスケジュールについて</p>	<p>■迫田企画係長</p> <p>議案に沿って説明</p>
<p>6. その他</p>	<p>特になし</p>
<p>7. 閉会挨拶</p>	<p>■松本策定委員長</p> <p>本日の審議で、策定委員会、策定会議、審議会が一巡した。その中の意見を踏まえて最終案をまとめていきたい。</p>